

町勢状況

昭和44.11.1現在
世帯数 1514戸
人口 5824人
男 2796人
女 3028人

広報たしる

田代町総務課編集 毎月5日 1600部発行

No. 206

昭和44年

11月号

広報のしおり



落葉も日ごとに数を増して、竹ぼうきをもつ手にも風が冷たく感じるこの頃です。
十一月を和名で「しもつ

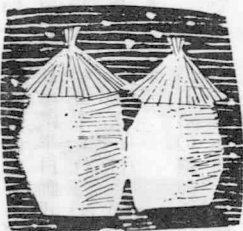
き」といいます。「霜しきり」にふる故に霜降月といひ(古書)「……というのがちかまって霜月といわれるようになったようです。
ことしの立冬は七日です。暦の上に冬が立てば、もう寒さはかけ足でやってきます。まだ四冊の自然は秋の

健康
気配が濃いのに、日中の日ざしは弱まり、日の暮れが早くなって朝夕は手足の冷えをおぼえます。
健康
空気が乾き、冷たい風が吹いてくると、かぜや、ぜんそくなど気管の病気が多くなります。昔はチョット



「さあ——腰を伸ばして」

絶好の稲刈り日和り (役場うらにて)



威勢のいい人なら「フンかぜぐらい熱いフロに入って卵焼酎を飲んで、ふとんをかぶって寝れば……」すぐ治る、それでも治らなければ売薬を飲めばなんでもないと、病気の仲間からはずしていたようですが、とてもないことです。
「かぜは万病のもと」といわれるのは、かぜのような症状ではじまる重い病気が多いからです。
軽いかぜなら暖かくして安静に寝ていればたいい治りますが、ぜんそくのある人は、しろうと療法は禁物です。いちど専門医に診てもらって正しい指導を受けましょう。
ふだん丈夫で病氣らしい病氣をしたことのない人は、とかくかぜなんかと水ばなをすすり上げて強がるものですが、あれは一番いけません。かぜをひいたら無理をせず、一日ゆっくり休養しましょう。

十一月の行事

10月の気象	
最高気温	28.4度
最低気温	2.4度
天日	14日
曇り	5日
雨	12日
雨	144mm
雪	308mm
雪	376mm

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|-------|------------|--------|----------|------------|----------|-------|-----------|----------|------------|-------|--------------|-----------|-------------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|--------|-----------|----------------------|-------|------|-------|
| 27日 | 25日 | 23日 | 21日 | 20日 | 19日 | 17日 | 14日 | 13日 | 10日 | 7日 | 6日 | 4日 | 3日 | 1日 | | | | | | | | | | | | |
| 町の教育研究大会
(27日・28日) | 郡社協大会・婦人人体
力検定(田代小にて) | 全国農業祭 | 22日まで生ワク授与 | 家庭教育学級 | 麓永寿会・大原校 | 土地改良区総会(麓) | 田代校家庭教育学 | 区婦人学校 | 地区永寿会・大原校 | サ予防注射・川原 | 19日までインフルエ | 消防幹部会 | 胃の検診(13・15日) | 接種・町振興計画策 | 定会議(10・11日) | 消防車入こん式・百 | 日咳ジフテリア予防 | 学級(田代校) | 隅地区振興会・婦人 | 員会・定時制高校大 | 和牛健康診断 | 婦人会長会・民生委 | 一般レントゲン検診
(4日・7日) | 町民運動会 | 文化の日 | 教育委員会 |

田代町の過疎対策は

どのように進められるか。

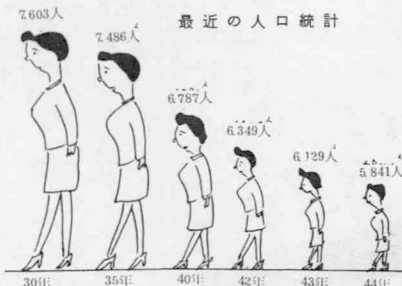
激しい人口の減少

田代町の総人口は昭和三十年代から減少をはじめ、当時二、三男対策をどうするか心配したこともありましたが、ここ四、五年間の人口の減少状況は下表のとおりで、これら減少の大半が若い青少年であります。

本町にかぎらず県をはじめ、各町村とも同様で、この影響が生活面や生産面に大きくあらわれ始めました。出生数も大巾に減少

特にその影響の大きいのは農業生産面と教育関係、及び医療関係、部落運営、道路交通などで本町でも農業労働者が老令化、婦女子化して、とくに田植、稲刈など農繁期において人手の不足が目立っています。また教育面においても出生数が下表のとおり減少しており今後学級の減少などにより学校の統合なども当然考えなければならぬこととなります。またところによっては人口減により病院などが都市の方へ引上げ医療

関係で困っている町村もあります。同じように人口減によるバスの運行の廃止や運行回数の減少なども年を追うて出てきております。



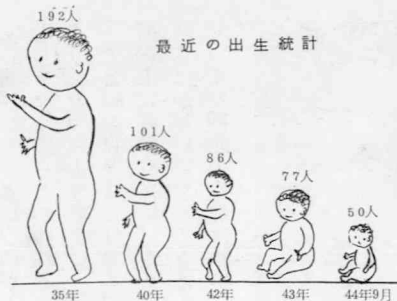
四本の柱を中心に 振興計画

国においてもこのように全国的に持上ってきた過疎問題、飛躍的に伸びつゝある国民経済や社会生活の進歩向上に即応した総合的な基本方針を定めた「新全国総合開発計画」を昨年五月に発表しました。これについて鹿児島県でも昨年十月に「二〇年後のかごし

ま」と題した長期にわたる本県発展の方向を示すビジョン（未来像）を発表しました。引続き本年六月に「第一次県勢発進計画」を作成しました。これには本年から向う五十年の発展計画が示され、すでに予算化され実行に着手しています。

本町としてもこれら国や県の発展計画を参考に地域性を加味した「田代町振興計画」の策定に着手しています。

本年中にはその大要がまとまることになっています。この振興計画にもられる基本的な考え方（基本構想）としてはどのようなことを考えられているのか、その概要をさぐってみました。



その一 交通、通信網の整備 「過疎」解消の第一歩は道路の整備から、と言われ、雨の降ると泥水が飛び、天気が続くとはこりがもうとうと舞い上る、このような道路の近くに人の集まり住むはずがなく勿論経済や文化の交流が栄えるわけがありません。

そこで本町としては先ず町外との連絡道路である県道の改良を積極的に推進し、中でも大根占、及び鹿屋市へ通ずる県道は緊急を要するものとして町をあげて強力に改良工事舗装工事を国や県へ働きかける、また町内の道路についても車道として拡巾やカーブの切り取りなどをするとともに、主要町道については舗装も行う、また農林道については農耕地の基盤整備の中で行なわれることになりましよう。

また通信網については道路網と同様大事であります。そこで町としては第一次、第二次の農集電話の架設工事を行ない一般加入の電話を合せて電話の普及率は全国平均を上回る二戸に一戸の割合で電話は架設されて

います。今後はできるだけ早い時期に半自動車を即時式に切替えられるよう関係方面へ働きかける必要があります。

以上の道路の整備や次号で述べる経済振興（農林業振興）や生活環境施設の整備、教育の振興、その他の事業の実施については、莫大な財源が必要であります。がこれらの事業費については勿論、国、県ともにその援助を積極的に行なうということとす。

(以下次号でお伝えします)



横にならんで走るのは他の 交通に迷惑となり また危険

世界 農林業センサスに協力を

準備調査

十二月一日

実地調査

二月一日



菊の香が いっぱい (上原伊世吉さん宅にて)

国民健康保険運営 協議会の委員決まる

任期満了により新しい委員が次のとおり決まり、

第一回の協議会が八月末開かれ、会長に貫見徹郎氏副会長に川前富造氏が出されました。委員は次のとおりです。(順不同)

- 公益代表 貫見 徹郎
- 川前 富造
- 中村 一夫
- 被保険者代表 前田 伊蔵
- 中野利三郎
- 山野 三蔵
- 篠原 正巳
- 神田 利雄
- 浜畑 好伸
- 医師代表

尚今回の協議会で税率の改正が協議され、その結果は町議会に提案議決されました、今回の税率改正は次のとおりです。

本年度の町負担分の総医療費は三千五百万円を見込まれておりますが、このうち国が二千四百五十二万円補助してくれ残りの一千四百八万円は、これも保険税でまかななければならぬので、さきの納税通知書にあるとおり、所得 割 百分の二、六 国定資産割百分の二、八

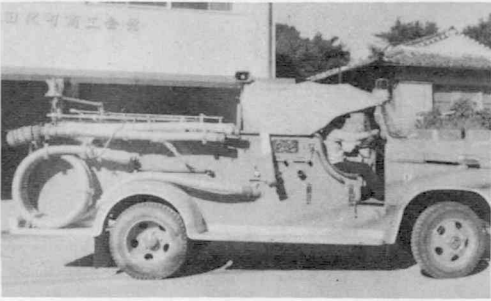
被保険者割(世帯員割) 一人当り八七〇円 世帯割 一五三〇円 右のうち所得割については本年三月皆さんが申告された所得の課税標準額、固定資産割については各世帯の固定資産税の総額にそれぞれ率をかけたものとなります。

御承知のとおり年々医療費の値上りで私達が病院の窓口で払うお金も多くなり、負担している七割分も多くなりしたが、国の補助もふえ、また保険税も上げざるを得なくなるわけであり、また田代町の保険税の納入成績は九四・五%で県全体九六・市町の八二位で、なりの大根占町は九八・七%根占町は九八・九%佐多町は一〇〇%と大変良い成績です。

どうか保険税の納入についていっそうの協力をお願いするとともに、早期診断、早期治療で、健康な毎日を送って下さい。

新しい消防車 麓分団に配備

昭和二十八年十二月購入した中央分団の消防ポンプ自動車は、最近老朽化し、ほとんど使用不能に近い状態でしたが、このほど、消防力の強化、充実、という意味において新車と更新し中央分団に配備されました。



これで河川の 氾らんも安心 麓橋附近は上流の河川改修工事が進みつれて、水の流れがとどまり勝て河の氾らんが続いておりましたところ、計画では来年度改修工事が行なわれる予定であり、このほど予定線の切り通しが行なわれました。(五一三米) これで来年度工事の竣工を待つまでもなく河川の氾らんの心配はなくなりました。

一日も早く麓橋を含む上下流の工事着工をお願いしたいと思っております。



レントゲン 検診率が ぐんと上って 来ました

(写真は平石部落の検診状況)



交通安全標語 命はしけりやスピード だすな 今日でも無事故で明るい社会 運転手目をひらいて前だけ 見て走れ 池田秀次 規則を守ってこそ最高の道 池水すず子 交通安全を守って 安全な毎日 並松 緑

香典返しを寄附 山下部落の山下孫左エ門様は五月九日、岩崎部落の折小野ハル様は六月二日、西中郡の宮下スミ様は八月二日、早瀬の宮原蔵蔵様は八月二七日それぞれ亡くなりましたがその忌明けにあたり御遺族の山下ミチ様より五、〇〇〇円宮下ミチエ様より三、〇〇〇円折小野武志様より五、〇〇〇円宮原正様より五、〇〇〇円それぞれ田代町社会福祉協議会に香典返しとして御寄附下さいました。

この尊い御寄附に対し町民の皆様とともに厚くお礼申し上げます。また、お祈りいたします。



ナイスバッティング

小組合ソフト

ボール大会

橋ノロチン馬場チーム
を破り二年連続優勝

十月十日「体育の日」に二十三チームが参加、中には一カ月も前から早起会で練習したチームもあり、また婦人会の応援もくり出し大変な盛会ぶり、日頃造林がまや、スコップで動かぬものをあつこうとと違ひ飛んでくるボールを打ったり、とったりすることは、なかなか「おもごたいッもはん」来年もまた頑張ってください。

出かせぎ

家庭の生活相談は
民生課へ

心温まる

話題二二つ

下部落の原ノ後新三氏は去る九月十五日敬老の日に関事代理の慰問をうけられたことし九才の元気なおじいさんであります、同行した猪鹿倉助役に町の社会福祉事業に使ってくださいと金五、〇〇〇円を託されました。皆さんとともに有難くお礼を申し上げます。

お母さんの命日に

続けて三回も寄附

西の宮市にお住いの松添智穂(とものり)さんは小さいときから母さん手一つで苦労をしながら育てられ田代中学校を卒業後、就職その後も夜間高校から大学まで苦学卒業されて現在西

の宮市内の会社に勤めておられます。

大根田の西川清信さんと親せきであります。

四年程前の十月苦勞をかけたお母さん(松添クミ)をなくされましたが小さいとき不運で苦勞された田代のことは心にしまっているのでしょう。毎年十月の命日ごとに金一万円を「恵まれぬ人達のために役立てて



松添智穂さん

ください」とことしで三回送っていただきました、松添さんはすでに会社でも重要なポストにあり、つい昨年の暮は会社の用件でヨーロッパ方面に一カ月の旅行もなさっておられるようです。「言うは易く行なうはかたし」という諺があります、が、このようなおこないは万人が良いことは知っていますが、なかなかできないことです。松添さんの御心情に感謝するとともに今後の御成功をお祈りしたいと思います。

田代郵便局から



お願い

郵便物には必ず

郵便番号を!!

さきに町内の各ご家庭へ郵便番号全国版をお届けしましたので、今後も郵便をお出しの時は、是非、相手の郵便番号とともにあなたの郵便番号もお書き下さいますようお願い致します。尚、年賀はがきの発売日は十一月五日(水)からです。

年賀状の差し出し準備のため、ぼつぼつ、住所録の整備をして下さいませ、郵便をより早くより正確にお届けするためよろしくお頼みします。

田代の郵便番号

八九三一二四



大きな事故に……

「こんにちば」保健所です

十五夜の綱引き、町民体育祭も終え、稲穂が波うつって田も今はすずめの落穂拾い。縁には米俵が並んで農家の万も一休み。

「わが家の食生活設計」リーフレットの利用はいかがでしょう。穀類、いも類についてお話しをしよう。

米・麦・うどん・そば・ソーマン・ラーメン・パン・マカロニ・スパゲティ・さつまいも・じゃがいも・さといも・砂糖などがここにはいります。これらは体の中でもえて働く力や体温となります。不足すると体重が減り、発育が悪くなり、元気がなく弱ってしまいます。又穀類・いも類ばかり食べても、肉や魚やだいず食品が欠乏すると浮腫を生じます。したがって食品のバランスを考えねばなりません。

おとな(男子) 1日に四〇〇グラムの米を食べればいいわけですが、米1合は一四〇グラムですから、1日3合弱です。朝・昼・夕も茶ワンでかるく二杯づ

つ食べるというわけですね。穀類からのカロリーは全カロリーの60%ぐらいが適当とされていますが、日本人は80%を、欧米人は30%位をとっています。穀類、いも類のとりすぎは肝臓や皮下に脂肪としてたくわえられ、又胃拡張、各種成人病の原因ともなります。

米がもえて力や熱となるためには、ビタミンB₁・B₂が必要です。ビタミンB₁・B₂は米の胚芽の部分にありますが、玄米は消化も悪くまずいために精白され、ビタミンB₁・B₂も糠となって失われます。家庭に米がとどいた時には、ほんの少し胚芽が残っているのですが、米洗いの水がすすむと、何回も水をかえ、一生懸命力を入れて洗われますし、ビタミンB₁・B₂は水溶性ですから、米を洗う時、水に長くつけて、水をすてしまつと、いっしょにビタミンも失ってしまいます。米は手早く洗い2/3回ゆすぐ程度にしましょう。

米に強化米(ビタミンB₁・B₂)・ビタミンE・麦・いも類をまぜて食べるようにしましょう。